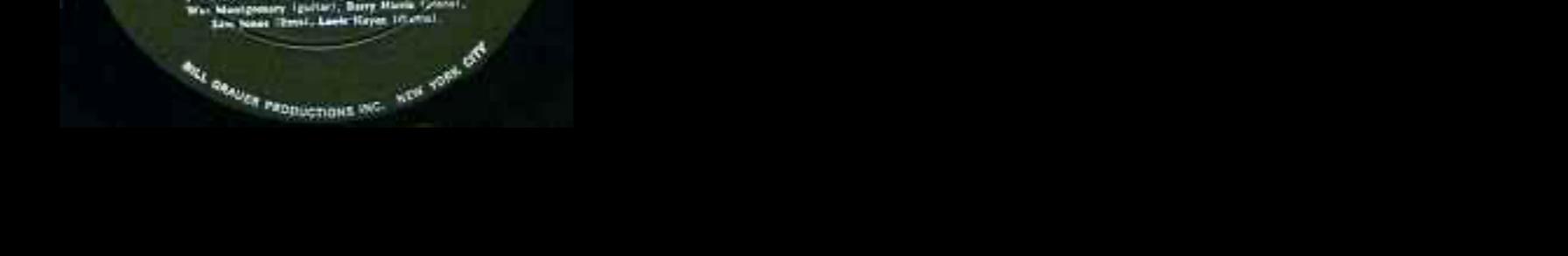


リヴァーサイドのコンテンポラリ・シリーズが好調な中、1960年にオリン・キーブニュースとビル・グラウアーによってリヴァーサイド・レコードの子会社として創設された。当初は廃盤になっていたリヴァーサイドのマスター・テープより廉価盤として再リリースをおこなっていたが、1962年まで新録もリリースしていた。1964年にリヴァーサイドの倒産に伴い、リヴァーサイドと共にオルフェウムに売却する。1967年リヴァーサイドの権利はABCに移るが、ジャズランドの権利移行は不明。1972年ファンタジーレコードに吸収される。1983年ファンタジーレコードがコンコード・レコードに買収され、ジャズランドはコンコード・ミュージック・グループの一部となる。

ウェスに関するレコードは下記に示す2枚です。
『West Coast Blues! Harold Land/Jazzland JLP-20』の1st.プレスはリヴァーサイドにも親される「ラベル小」と言われる直径約90mmのもので、MONO-STEREO共に「ラベル小」です。
(JLP 24 あたりまでがラベル小です)
しかし『George Shearing And The Montgomery Brothers/Jazzland JLP-55』は「ラベル大」が1st.プレスで直径約100mmのものです。
なお、溝有りは1stプレス、溝無しは1st-2版として区分けした。

West Coast Blues!

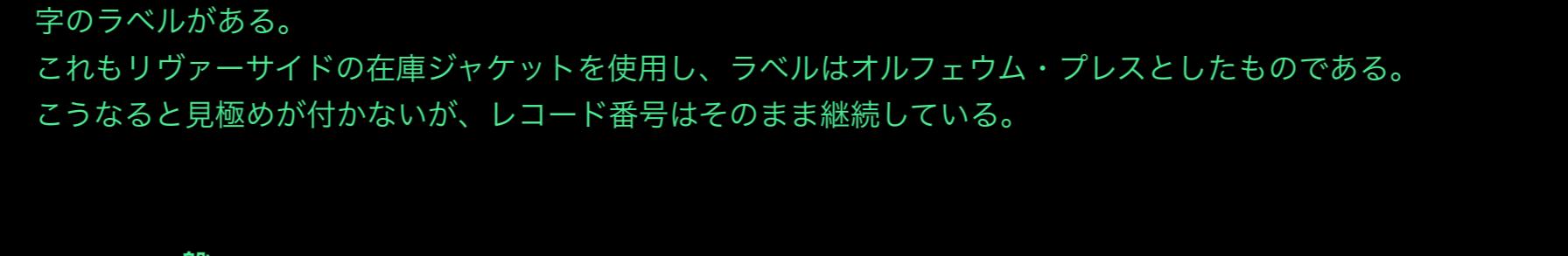
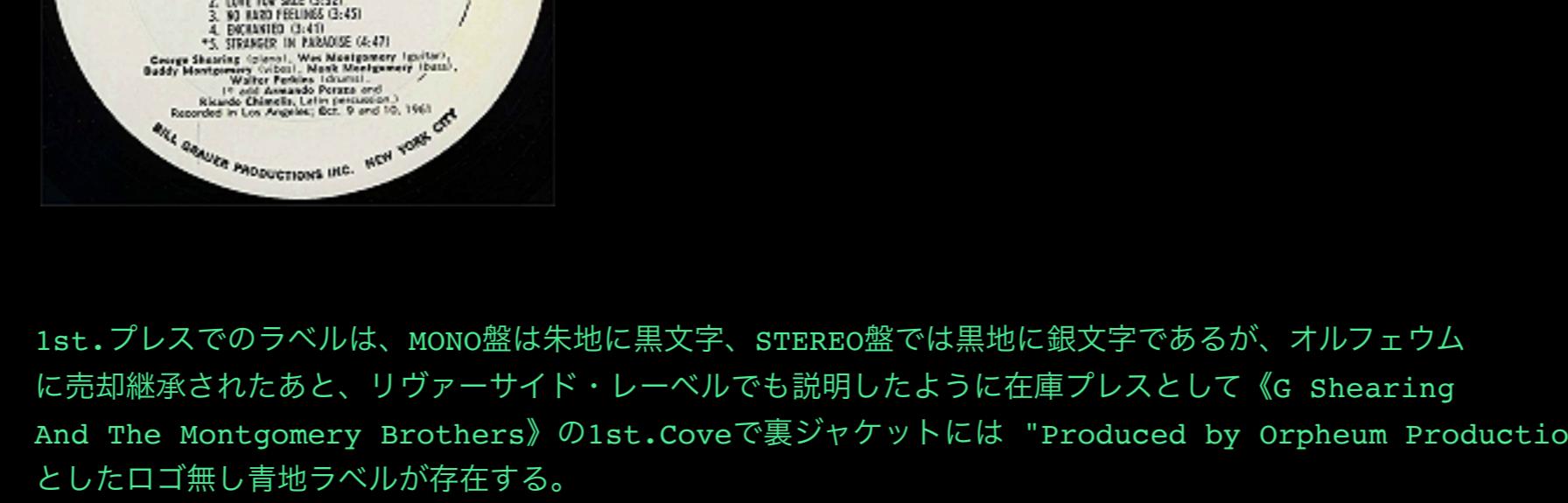
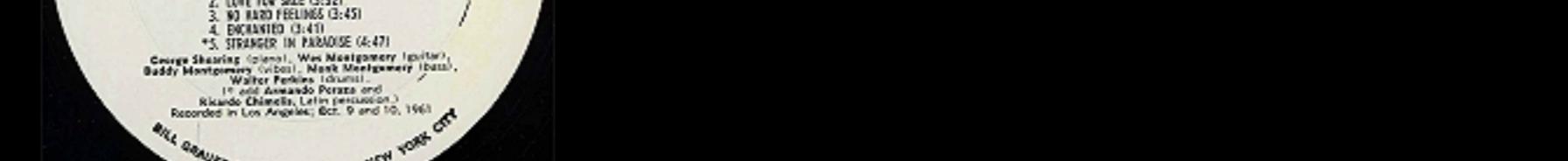


1st.プレスの見極めとして、「ラベル小」直径約90mmのもの以外に下部に「BILL GRAUER PRODUCTIONS INC.」の記載がない。2nd.プレスになると「ラベル大」直径約100mmになり「BILL GRAUER PRODUCTIONS INC.」の記載がある。

George Shearing And The Montgomery Brothers



裏ジャケットについて、リリースは "Bill Grauer Productions" ではなく "Producers of Riverside Records" となる。
表ジャケットについては右が2nd.Coverとなるが、倒産後のオルフェウムでも使われた。



1st.プレスでのラベルは、MONO盤は朱地に黒文字、STEREO盤では黒地に銀文字であるが、オルフェウムに売却されたあと、リヴァーサイド・レーベルでも説明したように在庫プレスとして『G Shearing And The Montgomery Brothers』の1st.Coverで裏ジャケットには "Produced by Orpheum Productions." としたロゴ無し青地ラベルが存在する。

そして『G Shearing And The Montgomery Brothers』の2nd.Coverで裏ジャケットには "Productions of Riverside Records" とされながらも朱地に黒文字のラベルや一般的に知られているえび茶地に銀文字のラベルがある。

これもリヴァーサイドの在庫ジャケットを使用し、ラベルはオルフェウム・プレスとしたものである。

こうなると見極めが付かないが、レコード番号はそのまま継続している。

